今金町の台所事情

発行：役場　総務財政課　財政管財グループ

平成２６年度一般会計決算額の状況

歳出　52億6，543万

人件費　7億 5，642万円
職員の給与や議員、委員の報酬など

扶助費　4億 1，517万円
各種医療給付費、児童手当など

公債費　6億 7，040万円
町の借金に対する返済

建設事業費　5億 1，168万円
道路整備や施設建設など

物件費　8億 5，028万円
賃金、旅費、光熱費、委託料、備品購入など

補助費　8億 7，738万円
各種補助金や消防署、衛生センター等に対する補助など

繰出金　8億 6，768万円
病院、下水道、介護保険などの特別会計への支出

その他　3億 1，642万円
維持補修費や積立金（貯金）、災害に対する復旧費用など

義務的経費

その他の経費

歳入　53億3，363万

自主財源

依存財源

町税　5億　862万円
住民税、固定資産税、入湯税など

使用料・手数料　1億　369万円
公営住宅、公共施設の使用料など

分担金・負担金　5，278万円
事業にかかる受益者負担金など

繰入金　2億 2，695万円
基金（貯金）の取り崩し

諸収入　1億 3，263万円

地方交付税　29億 5，594万円
標準的な町の財政規模を定め、不足するお金が国から交付されます

譲与税・交付金　1億 7，426万円
国に納めた税金の一部が一定のルールで交付されます

国・道支出金　7億 2，106万円
道路や施設の建設に伴う補助金など

町債　4 億 5，770万円
建設工事など金額の大きな事業を行うときの町の借金

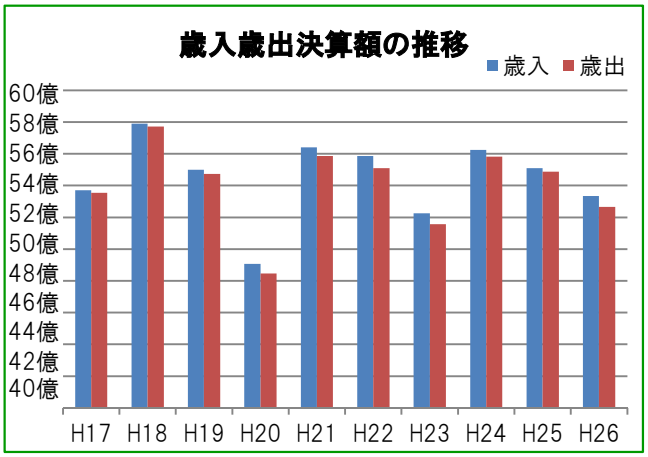
６千８百万円の黒字決算となりました

６千８百万円の黒字のうち１千５百万円を基金（貯金）に積み立て、残りを翌年度へ繰り越しました。

歳入歳出ともに、昨年度と比べて減少しておりますが、これは農業体質強化基盤整備促進事業の終了に伴い、歳入においては道支出金、歳出においては建設事業費がそれぞれ減少したことが要因となって

入湯税の使途について

町税の内、入湯税については、クアプラザピリカ等の施設管理経費に使用しております。



町の決算を町民１人あたりに例えると･･･

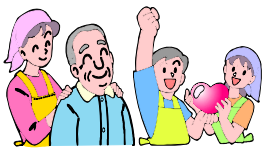
町民１人あたりの決算額

９３万８千円

※今金町の人口：５，６１３人
（平成２７年４月１日現在）で計算

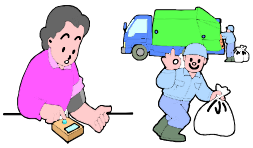
● 分野別の町民1人あたりの町民サービス費用は？

福祉の充実に



20万1千円

健康づくり・環境保全に

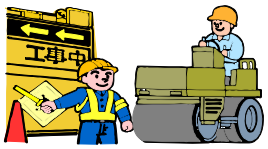


13万2千円

産業の振興に

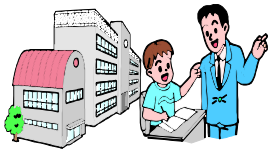
12万8千円

道路･住宅整備に



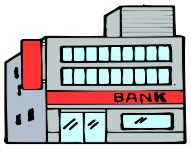
10万3千円

教育･文化の振興に



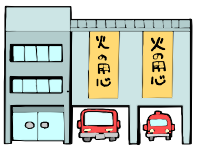
6万5千円

借金の返済に



11万9千円

消防・救急に



5万5千円

役場･議会の運営、住民活動に

13万5千円

● 月収30万円の家庭での1カ月の支出に置き換えてみると･･･

食費、医療費など

人件費、扶助費など

6万7千円

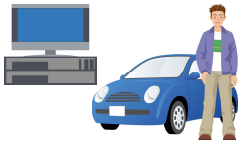
衣類や生活雑貨、光熱水費など

物件費

4万8千円

車や家、家電などの修理費

維持補修費、災害復旧費など



1万5千円

交際費、習い事、保険料など

補助費等

5万円

家の増改築やリフォーム費用な

建設事業費

2万9千円

ローンの返済

公債費

3万8千円

子どもの学費や仕送り

繰出金、貸付金

4万9千円

貯金

積立金

4千円

★各種基金（貯金）について　・・・　【一般会計分】

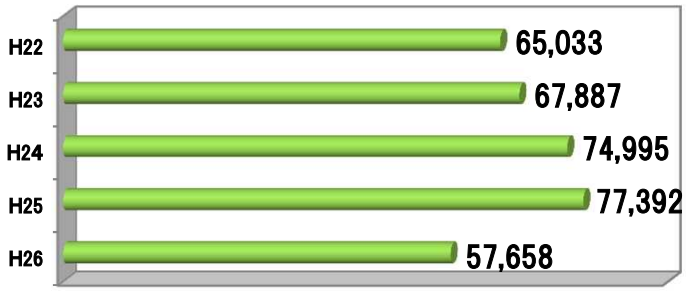
町もいざというときのために、『貯金（基金積立）』をしていますが、税収が急に落ち込んだり、災害が発生したりした時に備えるものや、将来の大きな事業をするためのもの、利子を財源に事業を支えるものなど、いろいろな目的をもって貯金をしています。

町では、町税などの収入が伸び悩むなか、計画的で健全な財政運営を進めるために、できるかぎり『貯金』をしています。

● 各種基金（貯金）の推移は？

①　財政調整基金

（単位：万円）



財政調整基金とは・・・

災害の発生時による不時の支出の増加や経済不況による予期せぬ収入減などに対応する財源に充てるため、毎年積み立てています。

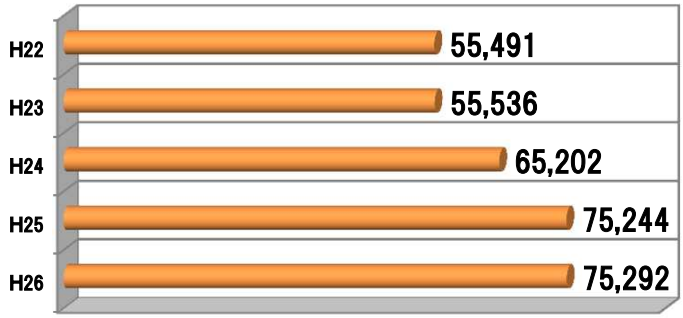
平成２６年度末現在高は、

５億７，６５８万円となっています。

※平成26年度は基金を取崩したため、残高が前年度と比較して１億９，７３４万円減少しました。

②　減債基金

（単位：万円）



減債基金とは・・・

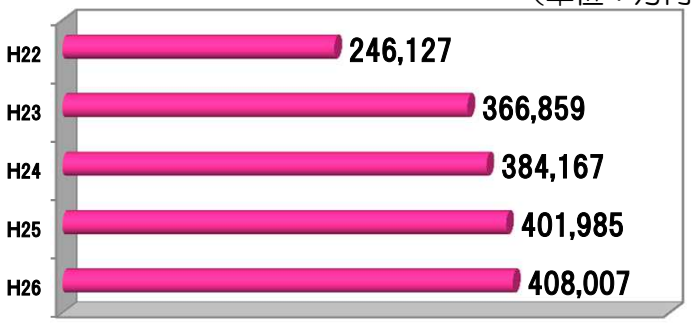
町には地方債という借金があり、これを計画的に返済するために充てている貯金です。

平成２６年度末現在高は、

７億５，２９２万円となっています。

③　その他基金など

（単位：万円）



その他基金とは・・・

公共施設整備や地域活性化など、特定の目的のために積み立てている基金です。

- ふるさと創生基金
- 文庫基金
- 生活交通路線基金
- 公共施設整備基金
- 国営緊急農地再編整備事業負担金支払基金
- 備荒資金組合納付金　　など

平成２６年度末現在高は、

４０億８，００７万円となっています。

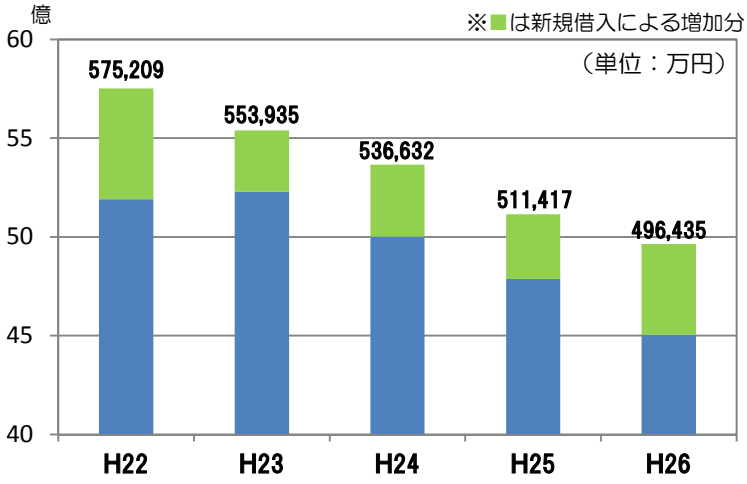
★地方債（借金）について　・・・　【一般会計分】

道路整備や公共施設の建設といった大きな事業を行うときは、町も一般家庭と同じようにローン（借金）を組みます。これを地方債といい、国や銀行などから資金の融資を受けます。

借金はしない事にこしたことはありませんが、公共施設などは将来の町民も利用することから、税金を一度に一つの事業に充ててしまうと、その他の行政サービスに回す税金が減り、サービスの低下を招きます。そこで、ローンの返済に将来の町民の税金を充て、税金の使い道の均衡を図ります。

● 町の借金はどのくらいあるの？

借金の残高の推移



町ではなるべく将来の負担を少なくするために、返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な借金制度を活用しています。

平成２６年度末の残高は、
４９億６，４３５万円となっています。

昨年度と比べ借金の残高が減少した要因は、借り入れた額が返済した額を下回ったことによるものです。

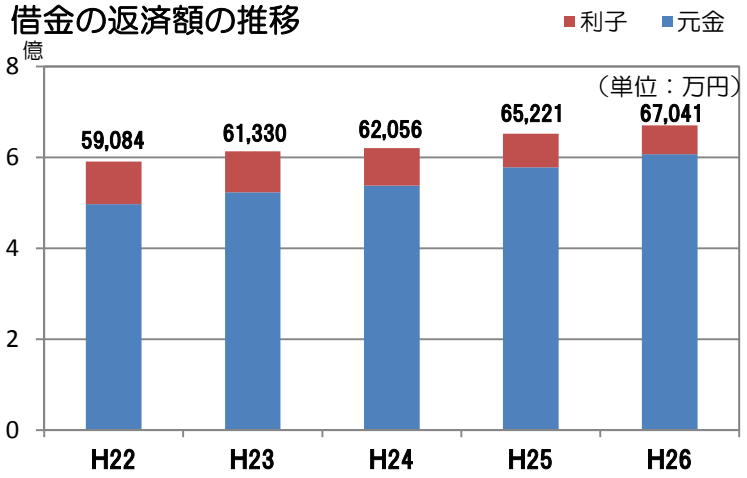
なお、平成２６年度の主な新規借入は、

消防救急デジタル無線整備事業	１０，２１０万円
旧美利河小学校改修事業	７，１７０万円
道路整備事業等	３，６８０万円
住宅リフォーム事業	２，０２０万円
患者輸送バス購入事業	１，７８０万円

となっています。

● 毎年どのくらい返済しているの？

借金の返済額の推移



毎年６億円～７億円の返済金となっており、近年は減少している傾向にありましたが、平成２３年度以降は、今金小学校改築事業や町民センター改修事業、公営住宅建設事業等の借金の返済が始まったことにより増加傾向にあります。

なお、平成２６年度の返済金は、
元金で 6億　753万円
利子で　6,288万円となっています。

お問い合わせ：役場　総務財政課　財政管財グループ
TEL　82－0111　FAX　82－2492